

〔第134回銀行業務検定試験〕

「窓口セールス3級」団体最優秀賞受賞・「財務3級」団体優秀賞受賞

池田泉州銀行

～“関西No.1 のリレーションシップ地域金融グループ”を目指して～

今回は、去る平成28年6月5日に実施された第134回銀行業務検定試験「窓口セールス3級」において団体最優秀賞、「財務3級」において団体優秀賞を受賞されました、池田泉州銀行へお伺いしました。

池田泉州銀行は、平成22年に池田銀行と泉州銀行の合併により設立されました。大阪市に本店を置き、地域経済の活性化に取り組んでおられます。

今回、快く取材に応じてくださいましたのは、人事部主任調査役の井戸元勇二さん、人事部副調査役の中畑雅嗣さんです。

●地域とお客さまのために

今回の受賞の感想をうかがうと、「非常に光栄なことです。人事の立場からすると、行員が頑張ったこのような成績を残してくれたことを誇らしく思います。当行は『地域第一主義』『お客さま第一主義』という理念のもと、地域のお客さまとご縁とリレーションを大切にするよう行員に求めています。お客さまと関係を築くうえで中心となるのは窓口業務の担当者ですが、『窓口セールス3級』を受験し良い成績を残してくれたことは、当行が目指すところと合致しますし、喜ばしいことです」(井戸元さん)

「『財務3級』は新入行員が中心となって受験しています。入行して間もない時期の試験ですが、そこで合格できたことは社会人として幸先の良いスタートが切れたと自信になると思います。また、検定試験は努力を評価してもらうための貴重な機会にもなっています。今回、『財務3級』で100点を取った行員は頭取から表彰を受ける予定です。行内でも周知しますので、先輩行員にとっても良い刺激になると思います」(中畑さん)とお話してくださいました。



▲池田泉州銀行 本店

●銀行員としての基礎づくり

銀行業務検定試験の位置づけについては、「受験はあくまで自己啓発という位置づけですが、昇格要件として採用しています。ほぼすべての種目が対象ですので、行員はそれぞれ学びたいものを受験しています。合格したものは試験種目の級に応じてポイントに換算され、ポイントが一定まで積み重なると昇格の対象となります。どの種目を受験するかは任意としていますが、新入行員に対しては、1年目のうちに法務・財務・税務3級を取得するよう勧められています。銀行員としてキャリアを歩むなかで、継続して学習することが求められますので、その基礎となる『学ぶ習慣』をつくる良い機会だと考えています」(井戸元さん)

「銀行業務検定試験は日頃の業務に役立つ内容なので、業務をこなしながら学習し、受験することで学習効果もより高まると考えています。また、法務・財務・税務の知識は銀行員として欠かせないもので、歴代の先輩たちも受験してきました。その先輩たちを見習って同じ道を歩むという面でも、検定試験を受ける意味があると思います」(中畑さん)とおっしゃっていました。

受験に向けた取組み受験にあたってどのような取組みを行ったかをお聞きすると、「新入行員向けには、財務分析基礎研修を行っています。これは、『財務3級』の受験対策を企図したものではなく、財務分析の主要なポイントを学ぶための研修です。ただ、この研修を受ければ、出題範囲のうち基本的な部分がある程度おさえることができるようにはなっています。講師は審査担当が務めており、昨年は行内トレーニーとして融資部に來ていた2年目の行員にも協力してもらいました。この2年目行員からは、『教える側としての準備は大変でしたが、自分にとって良い勉強になりました』という感想を得ております。研修の終盤には検定試験の話題に触れていき、過去の合格率等を示しながら、これまでの先輩たちも合格してきたんだよと伝えています。また、『お客様対応では60点を目指さないでしょうか。合格を目指すんじゃなくて、100点を目指してほしい』とも伝えています。この取組みを始めて以降、合格率や平均点が向上していますので、効果はあるのだと思います」(中畑さん)とのことでした。

●「変えること」と「変えないこと」

地方銀行として求められる役割についてうかがうと、「地域活性化、地方創生といった分野には積極的に取り組んでいます。金融業界を取り巻く環境がますます厳しくなっていくなかで、5年後、10年後も地域に貢献できるような持続可能なビジネスモデルを構築することが必要だと考えています。3月に発表した第3次中期経営計画においても、地域との共存共栄という点はこれからも《変えないこと》として続けていき、その一方、《変えること》として『7つの構造イノベーション』を掲げ、今後も安定して業績を収めていけるよう収益構造を抜本的に変革していくと明記しています」(井戸元さん)とおっしゃっていました。

●地域から「愛される」人材の育成

最後に、人材育成の基本方針についてお聞きすると、「『幅広いご縁』と『進取の精神』を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、地域の皆様に『愛される』金融グループを目指す、という経営理念を体現できる人材の育成というのが大きなテーマです。経営理念の考え方を土台として行動でき、地域のお客さまにとって親しみやすい人材を育てていければと思います」(井戸元さん)とお話してくださいました。



▲人事部主任調査役 井戸元勇二さん(左)、人事部副調査役 中畑雅嗣さん(右)

(お忙しいなか、取材にご協力いただきました井戸元さん、中畑さんには心から感謝申し上げます)